

三中だより

令和7年度第12号

令和8年2月5日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

大田区中央4-12-8

伊能忠敬は、江戸時代に全国を歩いて測量して、初めての正確な日本地図を作った人です。50歳から天文学を学びたいと思い、千葉の佐原から江戸に出て、江戸幕府天文方の高橋至時に師事しました。当時の最新の天文学は西洋から入ってきたもので、天文測量を通して正暦を作る技術も発展していました。忠敬はそうした最先端の天文暦学を学び、天体を観測するうちに、地球全体の大きさを求める必要があると考えようになりました。当時の江戸時代には、地球は球体であることが知られており、地球のぐるっと一周の長さを知るためには、緯度1度分の長さ(周の一部分)が分かれば、それを360倍すればよいと考えました。しかし、実際にその距離を求めるのは簡単なことではありません。忠敬はまずは、江戸の深川から浅草までの4キロほどの距離を歩いて測ってみました。それだけでは短すぎて正確な値を出すことが難しいと分かりました。より正確な測定には、江戸から蝦夷(今の北海道)までのような長い距離を測る必要があったのです。そこで、忠敬は当時の江戸幕府の許可を得て、北海道南部の測量の旅に出発しました。その取り組みはその後、日本全国を測量する大事業へと発展し、関東、東海、北陸、畿内、中国、四国、九州と沿岸部を中心に歩いて測量を続け、「大日本沿海輿地全図」を完成につなりました。忠敬が、導き出した緯度1度の距離は「28里2分」。約110.7kmです。現代の測量技術での、正確な値は緯度1度が111kmと、その差はわずか0.3kmという非常に

高い精度でした。

こうした多難な一大プロジェクトの測量作業に忠敬を駆り立てた原動力は何だったのでしょうか。発端は、「地球の大きさを知りたい」という彼の探求心でした。この、「どうなっているのだろう」、「自分の目で確かめたい」という気持ちは、誰しも感じる気持ちです。実際に旅に出かけて確かめる人もいれば、調べて想像力を豊かに働かせて確認する人もいることでしょう。そして、実際に行動に移して確かめることが、学びの喜びや達成感につながるのです。自ら動いて真実を知ること、日ごろの学びを確かめ知識を実感として理解できることなのです。伊能忠敬が「28里2分」を得てとても喜んだ気持ちも、きっとそうした達成感だったのだと想像できます。

この2月には、1年生は鎌倉へ、そして2年生は都区内各所へ校外学習に出かけます。これまでに、出かける先はどんなところなのか、どんな謂れがあるのかなど、事前学習に取り組んでいます。そして、当日の行動計画を立てて、見通しをもって行動できるように準備をしています。期待が膨らんでいることでしょう。ぜひ、現地に出かけて、事前の自分たちの問いの答えを確かめてきてほしいと思います。探求の心をもつことは、大きな成果に至るまでの出発点です。これは、日ごろの教育活動においても、大切にしていきたいことと考えております。

スクールカウンセラー
出勤予定日

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

	2/2(月)、2/9(月)、2/16(月)、2/20(金)
	2/3(火)、2/10(火)、2/17(火)、2/24(火)
	2/4(水)、2/5(木)、2/18(水)、2/19(木)

2月の行事予定

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
	第4回定期考査(社・美・技) 給食有	第4回定期考査(英・理・保体) 給食なし	第4回定期考査(数・国・音) 給食なし		天皇誕生日		都立高校 学力選抜検査(3)				生徒会朝礼	避難訓練(火災対応) 職業人講話(①)		土曜学習サークル ⑥	社会科見学(2) 都内めぐり	学校保健委員会 13:30~ 中央委員会 16:00~	建国記念の日	社会科見学(1) 鎌倉班行動	安全指導 専門委員会 15:30~		説明会 10:00~11:15 給食あり	土曜学校公開日(①・③・日終) 新入生保護者	EMT-J(1・2)			校内研修会 都立高校推薦発表(3)	

1 年生は福祉体験を行いました

1月30日(金)に、1年生は大田区福祉課のご協力で、福祉体験を行いました。当日は、障がいをお持ちの方のお話をお伺いし、自分たちも実際に体験することで、理解を深める機会としました。

白杖体験をして学んだこと 1年

1月30日(金)に福祉体験で白杖体験をしました。友達と声をかけ合いながら歩き、安心して体験することができました。目が見えない状況で、跳び箱のロイター板の上や、机と壁で狭くなった道を歩くと少し不安でしたが、声をかけあいながら進むことで安心できました。白杖で、地面や段差の高さを確認しながら歩くことの大切さや、声をかけてもらうと心強いことも分かりました。これからは、困っている人を見かけたら、勇気を出して自分ができることをしたいです。

車いす体験をして学んだこと 1年

今回私は車いすの体験を通して、普段は気づきにくい段差を上り下りすることの大変さを実感しました。また、車いすに乗る側の体験をしてみて、突然段差を降りると、不安と恐怖を感じました。そのため、車いすを押す側は、段差を降りるときに、相手にひとこと声をかけたり、ゆっくりと下すことが、乗る人の負担が減ることが分かりました。実際に体験したことで、車いすを使う人の大変さや周りの人の支えの大切さに気づき、今後は困っている人に手を差し伸べられるようになりたいと思いました。

手話体験について 1 年

私は、今回の福祉体験で手話を体験しました。手話体験では、日常使う、あいさつや年齢を言うときに使う数字などについて学びました。体験で行ったジェスチャーゲームで、手話の動きだけではなくて、体も使って意味を伝えることが大切だということを知りました。私は今回の手話体験で、手話はコミュニケーションをとるうえで、とても大切だということを知りました。また、機会があったら、視覚障がい者とのコミュニケーションに取り組みたいです。



大田区立中学校書初め展

1月22日(木)から1月27日(木)まで、池上会館で開催され、次の生徒作品が展示されましたので紹介させていただきます。みんな、心のこもった作品をありがとうございました。



大田区立中学校技術・家庭科作品展

2月4日(水)から2月9日(月)まで、東蒲中学校で開催され、みんなの創意工夫ある作品が展示されていますので紹介させていただきます。素敵な作品を仕上げました。みんな、ありがとうございました。

